

第6回 国際会議 IFUNA平泉大会

www.oralfunction.org

東洋と西洋が融合する機能療法 East and West Meet in Functional Therapy

第6回国際会議IFUNA平泉大会をUNESCOの世界文化遺産に登録された岩手県平泉町で開催いたします。三浦不二夫 東京医科歯科大学名誉教授をはじめ海外から16名の招待講演と国内からも多数の招待講演があります。機能的顎矯正治療、矯正装置、筋機能、呼吸、早期治療、顎関節症といったトピックを取り上げます。会期中は素晴らしい紅葉の季節です。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

大会長 氷室 利彦

会場：一関文化センター中ホール（岩手県一関市大手町2-16 TEL 0191-21-2121）

主催：IFUNA (International Functional Association) 主管：Oral Function Mesh Collaboration

2012年 10月25日（木）～28日（日）

25日 (木)	9:00～16:00 16:00～ 18:30～	プリングレス コース 祝賀セレモニー（要招待） 歓迎レセプション	平泉文化遺産センター ホテル武蔵坊
26日 (金)	9:00～19:00 19:30～	講演・学術展示・商社展示 ソーシャルパーティー	ベリーノホテル一関
27日 (土)	9:00～19:00 19:30～	講演・学術展示・商社展示 フェアウェルパーティー	蔵元レストラン 世嬉の一
28日 (日)	9:00～12:00 13:00～19:00	講演・学術展示・商社展示 ポストングレスコース	閉会式

プリングレスコース

Marie DESHAYES 先生

医師であり矯正歯科医で、顎顔面頭蓋の変形や不調和を改善するために6歳以前からの矯正歯科治療に取り組んでいる。

Wilson ARAGÃO 先生

Aragao's Function Regulator装置によって、顎関節や口腔周囲筋の不調和を改善するとともに咬合や呼吸機能を回復し、姿勢の改善を図る治療法を提唱している。

ポストングレスコース

Brian PRESTON 先生

歯科矯正学に数々の優れた業績を残し、機能的顎矯正治療や咀嚼・呼吸について研究を深めてきた。

José DURÁN von ARX 先生

呼吸や咀嚼、嚥下などの口腔機能の改善が不正咬合の治療に必要であるとし、鼻呼吸や口唇閉鎖不全を改善する刺激療法 (Stimulotherapy) を著している。



東北新幹線 東京⇄一ノ関 約2時間10分
いわて花巻空港：www.hna-terminal.co.jp/
仙台空港：www.sdj-airport.com/

参加登録・宿泊申し込み <https://amarys-jtb.jp/hiraizumi/>

事前参加登録 8月31日まで

歯科医師・医師・歯科技工士 35,000円 [9月1日以降 40,000円]
歯科衛生士・助手・言語聴覚士等・大学院生・学生 15,000円 [9月1日以降 18,000円]

特別講演



三浦 不二夫
(東京医科歯科大学名誉教授)
我がライフワーク“顎口腔機能の研究”

海外招待講演

Australia



John FLUTTER
(Dental Surgeon Brisbane, Queensland)
顔面の成長と歯列に対する筋機能の影響



Roger PRICE
(Consultant Respiratory Physiologist)
姿勢矯正療法：歯科学的および歯科矯正学的、睡眠状態の機能不全における姿勢と呼吸支援の提供

Brazil



Wilson ARAGÃO
(Specialist in Orofacial Pain)
機能的装置 (AFR) による偏頭痛と頭痛の治療

Canada



Billy WILTSHIRE
(Professor and Head of Orthodontics and Graduate Program, Director at the University of Manitoba)
著しいⅡ級不正咬合における成長修正と顎矯正外科手術間での治療期間と治療成果の比較

France



Marie DESHAYES
(International Telecrane Club, Caen)
ヒト頭蓋底の進化と乳歯列期顔面成長への影響

Germany



Barbara-Rhodes BIMLER
(Permanent Visiting Professor University of Havana Medical School, Cuba)
Bimlerによる治療後の鼻呼吸の割合

Israel



Michael GORBONOS
(President of IFUNA)
国際的合意をめざして

Italy



Cesare Lorenzo DEBERNARDI
(Professor and Chair of Orthodontic Department, University of Turin)
異なる矯正力負荷に対する歯周組織の反応



Andrea DEREGIBUS
(Professor of Clinical Gnathology, University of Turin Dental School)
白歯部反対咬合と顎関節症：早期改善の重要性



Franco MAGNI
(Adjunct Professor, Department of Orthodontics, School of Dental Medicine, Case Western Reserve University (CWRU), Cleveland, Ohio (USA))
矯正歯科臨床で私が好むこと好まないこと



Stefano MONTAGNA
(Specialist in Orthodontics, Parma)
固定式矯正歯科治療時の三つの機能的処置：準備のため、進行させるため、維持するため

Spain



José DURÁN von ARX
(Head and Chair, Department of Orthodontics University of Barcelona)
矯正歯科における刺激療法

Taiwan



Ming-Jeun SU
(Former president of Taiwan Association of Orthodontist)
可撤式機能的矯正装置によるアングルⅡ級不正咬合の治療

USA



David ARNOLD
(American Academy of Gnathologic Orthopedics)
クロザットの装置：機能、気道そして成長



Sandra COULSON
(Orofacial Myologist)
口腔顔面筋学はもう一方の機能的療法への実行可能な補助か？



Brian PRESTON
(Professor and Chair, Department of Orthodontics, State University of NY at Buffalo)
歯科矯正学のルールとは、もしあるとするなら、何か？

国内招待講演

有田 信一

(ありた小児矯正歯科院長)
1歳からの咬合成育—乳歯列反対咬合と乳歯列叢生への対応

濱田 充彦

(医療法人社団 夙川グリーンタウン矯正歯科クリニック理事長)
顔面筋群や口腔内感覚の機能障害症例について

氷室 利彦

(Oral Function Mesh Collaboration代表)
ソーシャルメディア時代の矯正歯科患者の選択

伊藤 率紀

(メキシコ州立自治大学客員教授)
Bimlerの歯列拡大効果—6歳と8歳児の比較—

菊池 哲

(コスモス矯正歯科医院長)
睡眠検査は矯正診断には必要不可欠である。

北總 征男

(北總矯正歯科医院長)
Biobloc 治療と下顎の前方誘導

金 俊照

(きむ矯正歯科クリニック院長)
ネジ付き噛み締め型アクチベータ (FKO) を用いた新たな口腔筋機能療法の考え方

中村 芳樹

(鶴見大学歯学部歯科矯正学講座教授)
後頭蓋底の成長と下顎骨の位置関係および顎機能装置の効果との関連性

里見 優

(さとみ矯正歯科クリニック院長)
低位舌の改善法

鈴木 善雄

(朝日大学歯学部客員教授)
New Orthopedic Positioner を用いた上顎前突症の第一期治療

田井 規能

(アリゾナATS大学矯正科客員准教授)
機能的顎矯正装置の治療効果のマルチモダリティによる評価

山口 秀晴

(日本口腔筋機能療法研究会会長)
口腔機能異常と不正咬合との関係—医学的エビデンスを求めて—

山崎 要一

(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野教授)
乳歯列期・混合歯列初期の咬合異常症例の早期治療と顎口腔機能